

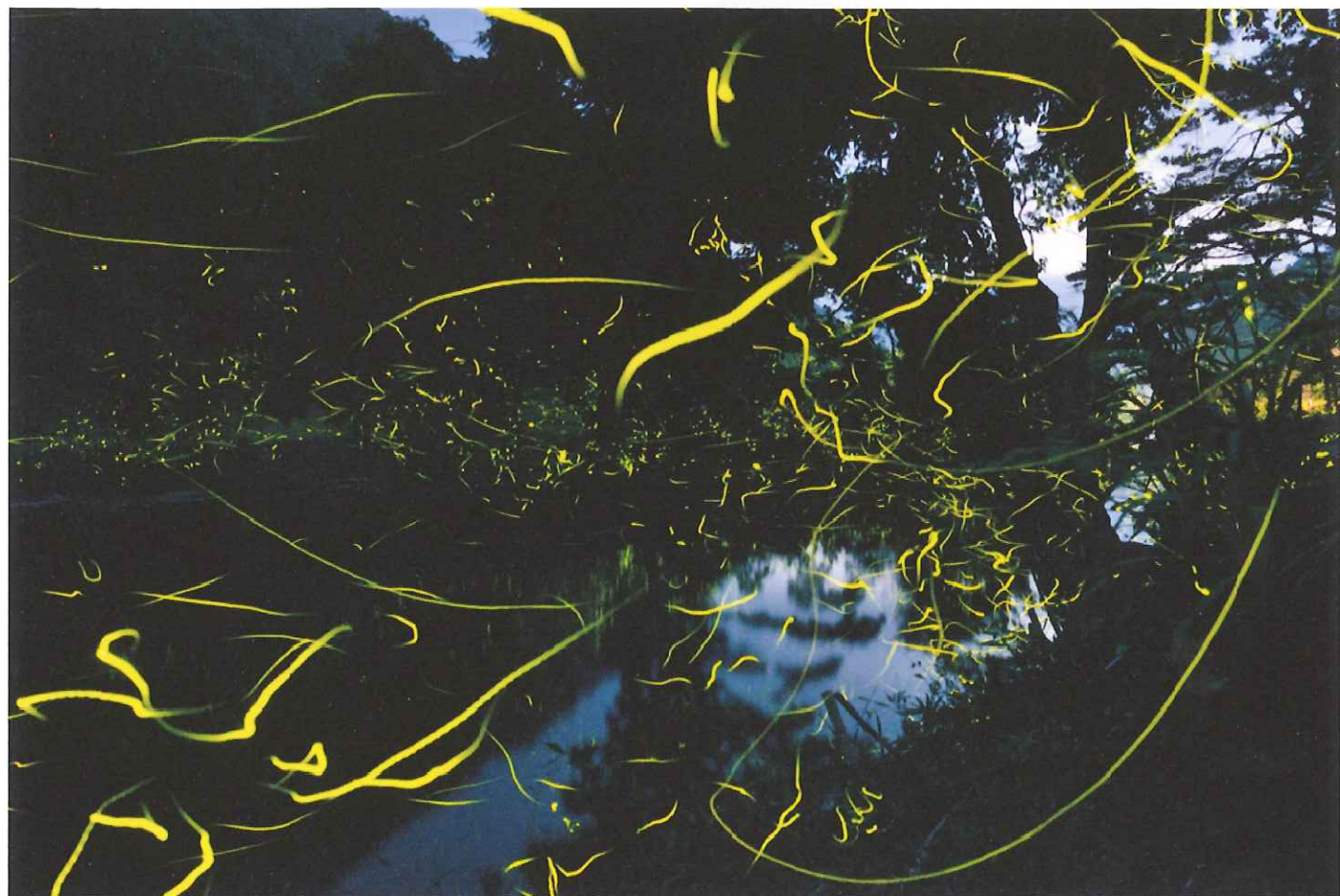
# 大潮だより

# 円山

第18号

発行年月日  
平成24年6月1日

発行者  
大潮の里を守る会



幻想的なホタルの乱舞 (2011年蛍公園にて撮影)



う。ことのできる。ルを観るこ。が、今。年もきつと。沢山のホタルを。訪れられま。外から多く。の見物客が。け、地区内。月上旬にか。下旬から7。ました。昨年。大発生し、6月。看板も建て。命名して、「大潮螢公園」と。橋さんがきれいに整備されたのをうけ、ゲートボール場跡地をファンクラブの高。大潮にはホタルの見どころは沢山あり。大潮にはホタルの見どころは沢山あり。今年も初夏の風物詩ホタルの季節が近づいてきました。

## 新しいホタルの見どころ「大潮螢公園」

今年も初夏の風物詩ホタルの季節が近づいてきました。

大潮にはホタルの見どころは沢山ありますが、一昨年から錦川源流の碑付近のゲートボール場跡地をファンクラブの高橋さんがきれいに整備されたのをうけ、「大潮螢公園」と命名して、看板も建てました。昨年はホタルが大発生し、6月



片山アキ子さん

## お達者さん紹介

今回は片山自治会の片山アキ子さんを紹介します。片山さんは大正15年10月生まれ、85歳ですが、とても元気です。田んぼの水管理や田舎の店に出荷される野菜づくりも頑張っておられます。取材で訪問した時も畑でお会いしましたが、畑には草一本もないようによく手入れがされていました。また、お仕事以外でも片山サロンの行事をはじめサロン

交流会や敬老会などにも積極的に参加されているほか、月2回やまなみ荘のデイサービスにも出かけておられます。お元気の秘訣はとお訊ぎすると、「じっとしているのが嫌いだから何時も身体を動かしていることかな」とのこと。大潮の高齢者の皆さんも片山さんのような生活が出来たらいいなと思いました。何時までもお元気できて下さい。

## 寄稿

## 感激の母校との邂逅

原田 良正さん  
東京都千代田区(片山出身)



4年前の秋、妻と有楽町の映画館で「石内尋常小学校花は散れども」を観た。

封切日に並んでチケットを買い求め、新藤兼人監督以下出演者の舞台あいさつの後、母校大潮小学校が大きく映し出された。

ソフトボールに明け暮れ、相撲をとり顔から倒れて血だらけになった砂場や教室の隅々まで、当時のことが昨日の如く思い出され、教わった先生方の顔が浮かんで来て、自然と涙が溢れてきた。50年前のふるりの母校大潮小学校との懐かしく、感激の出会いであった。

子どもの頃のことは、還暦になった3年前、パソコンに文庫本ができるほどの内容で書き綴った。竿を折りながら1尺を超えるヤマメを吊り上げたり、ウナギ取りをしたことや炎天下で草野球に興じたことなどなど。大自然を相手の田舎での遊びの想いでは尽きることがない。

今年は両親の13回忌で10年ぶりに帰郷する。昔と違って自然林で覆われた円山が見えてくると、これが我がふる里だとホッとした安堵感に包まれるだろう。

故郷を離れてもう50年近くになるが、ホームページ「大潮田舎の店と大潮の里をまもる会」のギャラリーの写真はパソコンの背景画にして毎月変えるのを楽しみにしている。

遠く東京にいてもふる里に向き合うことが出来るのが何より嬉しい。「大潮の里をまもる会」の皆さんを始め、地元の人達がふる里を大事に育てていてくれることに心の底から感謝！感謝！

## 看板たてと花植えに74人



去る3月20日、2回目の看板たてとヒガンバナの植え付けをしました。今年も地元、ファンクラブ員、他出者合わせて74人の参加があり、看板は10本と、花植えは小潮と桶山に植えつけましたが、人数が多かったため、大変スムーズに進みました。こうした案内看板のお陰で地元の私たちでも今までもあまりに気に留めなかった各集落のお大師様などに気がつくよう

になりましたから、他所からこられた方には尚更のことでしょう。地域の先人達の残した遺産に光を当て、後世に残していくことが私たちの役目であり、地域の自信にもつながるのではないのでしょうか。また、花は年数とともに数を増やし何時かきつと地域の誇れる財産となることでしょう。

## 編集後記

24年度総会が終わり新年度がスタートしました。

まもる会も設立3年目を迎えてビジョン(行動計画)も定着し、皆さまのご協力が得られるようになりました。今年も小学校校舎の活用に取り組まなければなりません。が、相当な経費が必要となります。まず、運営体制のこともあり、なお検討をしなければなりません。

ところで、錦川の水质は見たところ随分と良くなりましたが、何故か魚がメッキリ少なくなりました。反面、サギや川鶉の数は随分増えたようです。あちらを立てればこちらが立たず。いやはや自然保護とはむずかしいものですね。



# 今年の活動（行事等）

## 活かそう！旧大潮小学校

大潮の里をまもる会では、地域ビジョンの中で、施設を有効活用して地域を活性化することを目標に掲げていますが、その実現のため、昨年度、外部委員も含めた検討委員会を立ち上げ、旧大潮小学校の活用方法を検討してきました。



小田地区と、他地域の活用事例

### 建物の現状と利用の状況

建物内部は思いのほか老朽化していき、懐かしい小学校の香りが感じられます。しかし、トイレと水道設備は使用するには改修が必要です。

利用の状況は、ホテルまつり等の交流事業やギャラリ、高校生などのキャンパなどに年間を通じて利用されています。

### 他地域での活用事例

他地域の活用事例検討では、東広島市小田地区と、旧秋芳町八代地区、周南市小畑地区の活用状況を調査しました。

### 活用の方法

活用のアイデアについては、星の観察会や昔の教室の再現、ギャラリなどを整備した交流の拠点として、また、木工、竹・わら細工、漬物加工などの体験や地域住民の仕事場として、さらには、宿泊施設として整備、などの意見が出され、検討されました。

「大潮里のつどい」を開催  
今年、大潮の里をまもる会が発足して3年目になり、発足以来、地域の皆さまをはじめ、大潮ファンクラブ会員、他出後継者など、多くの方々のご理解とご協力をいただき、さまざまな活動を展開してきました。

3年目を迎えるにあたり、ここで一息ついて、活動の振り返りと今後の活動について、多くの皆さまと意見交換し、より良い地域づくりを進めたいと考え、10月28日、旧大潮小学校を会場に「大潮里のつどい」を開催します。内容については検討中ですが、全国町村会の坂本誠先生にもおいでいただく予定ですから、是非ご来場ください。

## 鹿野アートフェスティバル 7月20日～7月23日

来る7月20日から23日までの4日間、旧大潮小学校の校舎で、「鹿野アートフェスティバル」がアートフェスティバル実行委員会の主催でひらかれます。

内容は鹿野地方特産の山代和紙を使用した和紙アートの展示や、東京国際キルトフェスティバルの入賞作品の展示など、県内外の工芸作家やアーティストが参加するアートイベントです。

2012.7.20(金)～2012.7.23(月)  
旧周南市立大潮小学校校舎

魅力のキルト

### 体験型教育旅行の受け入れ

7月24日から25日にかけて、体験型教育旅行と題して小学生のホームステイが受け入れられます。

「人と人の交流からお互いが高まる」を目的に、市内の今宿小学校の5・6年生が大津島、大道理、須金と鹿野地区の受け入れ家庭に、それぞれ3人宿泊して農村生活を体験する計画が立てられています。

に向けて、例えば野菜の収穫一つでも多く体験し、すばらしい思い出を作ってもらえるように準備を進めたいと思います。

### 夏のふれあい交流

昨年に引き続き、今年も7月29日(日)に「子どもエコクラブ」と大潮出身の子どもさんとの「夏の交流会」をおこないます。今年も少し趣向を変えて、午前中は豆腐づくりなどに挑戦、午後は川遊びや昔の遊びなどを楽しんでもらいます。大潮出身の子どもさんが沢山参加されるよう、お待ちしております。



### ホテルまつりにご協力を



今年も6月の声とともにホテルの季節がやってきます。大潮の里をまもる会では今年も恒例のホテルまつりを、6月16日(土)午後6時から開催します。初夏の夕べのひと時を楽しく過ごしていただけるよう、スタッフ一同準備を進めています。会場設営や運営などに、多くの人手が必要です。今年もまた多くの方のご協力とご来場をお待ちしています。

### 24年度総会 全議案を承認

平成24年度総会を5月20日旧大潮小学校講堂で開催し、23年度の事業報告や決算報告ならびに、24年度の事業計画および収支予算案、役員改選などの議案が承認されました。

平成23年度決算
収入総額 3,737,138 円
支出総額 2,575,436 円
差引残額 1,161,702 円
(平成24年度へ繰越)
平成24年度収支予算
収入総額 4,192,000 円
支出総額 4,192,000 円

### 年間行事予定

4月	配食 田面水管理の啓発
5月	総会20日
6月	ホテルまつり16日 配食9日
7月	円山発行1日 大潮のふれあい交流29日 国道草刈り23日
8月	先進地視察 配食11日
9月	ヒガンバナまつり
10月	大潮里の集い28日 配食13日
11月	ルーラルフェスタ 10・11日
12月	配食8日
1月	看板作製
2月	看板作製 配食9日
3月	看板設置 花植え
通年	小学校校舎の活用検討・実施

### 新年度役員

会長	石川 光生
副会長	市川 三幸
書記	潮田 秀彦
監事	原田 三喜男